

## 令和8年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立波野小学校（外10校）	鹿嶋市教育委員会	公立

### 1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立波野小学校	<a href="http://www.sopia.or.jp/namino/wp/?page_id=8899">http://www.sopia.or.jp/namino/wp/?page_id=8899</a>

### 2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月

2018年4月 変更

\* 取組の期間

2030年4月まで

### 3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

### 4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「Colorful Stage KASHIMA～ひとあざやかに ひとつのまちに～」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

## 5. 実施の効果、課題および方向性

### (1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

#### 【実施の効果】

- 1・2年生において英語を導入した特別教育課程を実施した結果、以下の効果があった。
- ・英語の歌や踊りを楽しむことで、自然に外国語に慣れ親しむことができている。
- ・外国語に触れることで、多様な文化や慣習を学ぶきっかけになっている。
- ・TPR に楽しんで取り組んでおり、ジェスチャーは得意である。
- ・目的や場面、状況を明確にした単元課題を設定し、児童が主体的に学ぶことができるように工夫することで、多くの児童が楽しみながら、積極的に外国語でのコミュニケーションを行っている様子が見られた。

#### 【手立て】

- ・ALT との TT を核とし、ネイティブな発音や身振り手振りに日常的に触れる機会を増やす。
- ・バックワードデザイン型の授業を実施することで、知識の暗記ではなく実際に使える力を育成する。
- ・児童ベースで単元構想をし、主体的に学びたいと思える課題設定や、一連の授業での見通しと振り返りを重視する。

### (2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・「Small Talk」の活動を通じて、児童が日常的に既習の表現を使う時間を確保し、楽しみながら必要な表現を活用できるようにする。
- ・「目的・場面・状況」の設定を明確にし、相手意識をもたせるような言語活動の指導を行い、楽しみながら必要な表現を身に付けられるようにし、段階的に聞くこと・読むことを書くことへ繋げるよう指導の工夫と改善を図る。